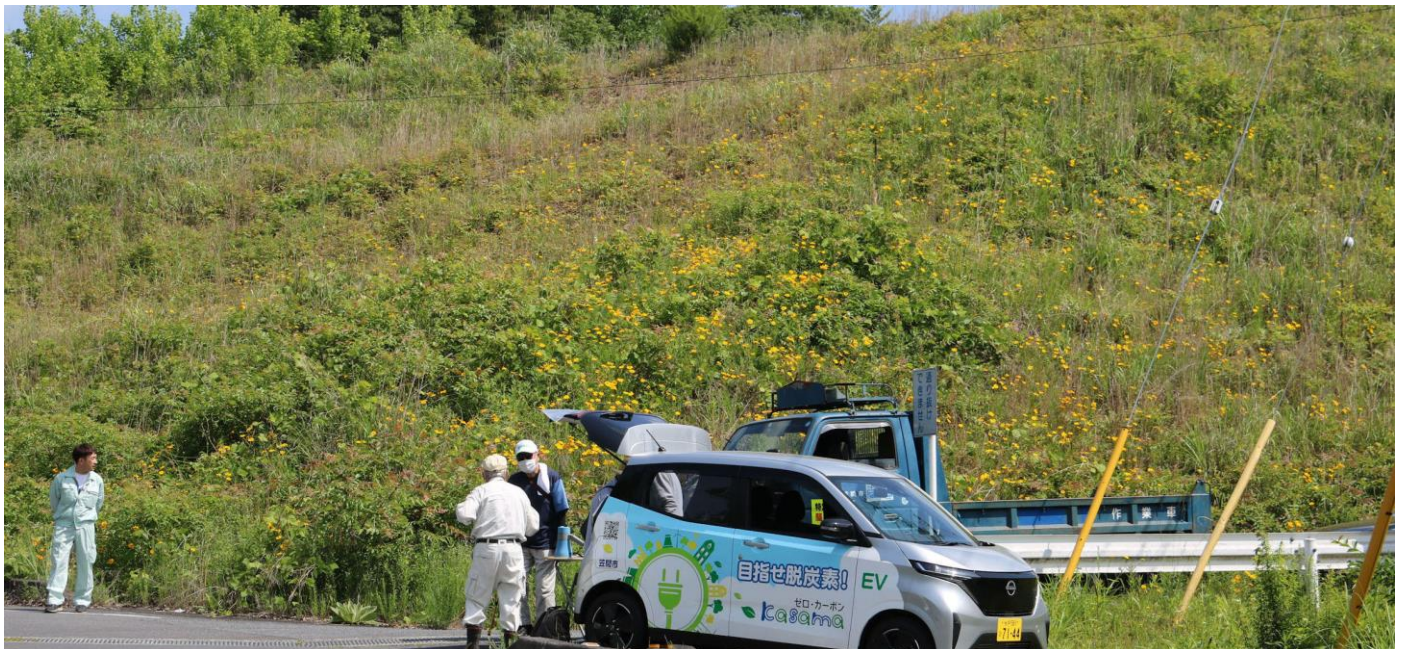


第14回 オオキンケイギク抜き取り作戦報告

日 時 2023. 05. 27(土) ※小雨決行
スケジュール 9:30現地集合 9:45~11:45作業 12:00 解散

1/10

- 1. 主催：**かさま環境を考える会・ごみを考える会・笠間市 **後援：**茨城県
- 2. 協力団体：**① あたご四季の会 ② イオン笠間店 ③ 茨城県環境政策課 ④ 茨城電通 ⑤ 茨城トヨタ ⑥ 岩倉緑化 ⑦ エチオピア未来の子供 ⑧ キヤノン阿見 ⑨ キヤノン化成 ⑩ キヤノンモールド ⑪ J R 東日本 ⑫ 常陽銀行 ⑬ セキスイハイム工業 ⑭ 第一東宝ランド自治会 ⑮ 東京航空局東京空港事務所 ⑯ トヨタモビリティパーツ ⑰ ビオトップ天神の里を作る会 ⑱ 東日本高速道路 ⑲ ハタヤ商事 ⑳ 星山地区自治会 (以上アイウエオ順) ㉑ 笠間市新規採用職員+人事課 ㉒ 笠間市資源循環課 ㉓ 賛同市民
- 3. 実施場所：**5月19日の調査結果により、添付1 オオキンケイギク成育分布図 に示す地域に決定。
 - ① A班 笠間東工業団地
 - ② B班 稲田石切山脈地区～本戸
 - ③ C班 北関東道沿い 南小泉～友部 J C T
 - ④ D・E班 笠間市総合公園～寺崎・石井 (D班) ～下市毛団地・下加賀田 (E班)
 - ⑤ F班 岩間愛宕山周辺 (自主活動)
 - ⑥ G班 第一東宝ランド団地付近 (自主活動)
 - ⑦ H班 星山地区 (自主活動)
 - ⑧ I班 ビオトップ天神の里 (自主活動 セイタカアワダチソウ抜き取り)
 - ⑨ J班 友部航空無線通信所内 (管理者 自主活動)
- 4. 集合場所：**現地集合、現地解散。集合場所については詳細地図を当該協力団体に郵送または電送。
- 5. 作業要領と安全注意**
 - ① 除草作業に適した服装 (帽子・長袖・長ズボンなど できれば長靴) で参加。
 - ② 班長は道路沿いでの作業では、カラーコーンを配置して交通安全に注意。
 - ③ オオキンケイギク、セイタカアワダチソウとも幼株も含め、できるだけ根まで引き抜くよう作業前に説明。添付 ビラ参照。
 - ④ 抜き取ったものは4.5Lポリ袋に入れて密閉し、所定の場所に集積。(セイタカアワダチソウは別袋に)
 - ⑤ 当日抜き取り作業が実施出来ない場所は、後日、本会会員が抜き取る (6月7日・6月12日 予定)。
 - ⑥ 私有地で見つけた場合は、ビラを家人に渡して説明するか留守の場合は郵便ポストに入れる。



A班 東工業団地の主会場 作戦開始を待つ

この活動はエコーいばらき環境保全基金の助成を受けています。

A班



作戦開始！！



崖の上まで攻め上る



ぼくも取ったよ！



A班 成果物を前に作戦参加の皆様



藪をかき分けて

A班

場 所：笠間東工業団地 主会場
人 員：36名 + 運搬担当4名
抜取数：材料の体積4 2袋 セイカアツタが刈り他 6袋

県民生活環境部環境政策課長が作業に参加された。
セイカアツタが刈りやブタナ、ヒロトモウシ などの外来種も除去した。
セイカアツタが刈り他は昨年3 6袋あったので、激減している。



B班

抜き取り作業前の様子 稲田周遊コース道標付近

抜き取り作業後の様子 稲田周遊コース道標付近
(幼株の取り残しは多数あり)



B班 成果物を前に作戦参加の皆様

場所：石切山脈地区

B班

人員：36名

抜取数：石切山脈地区 53袋

本戸 3袋 合計 56袋

作戦範囲は289号に沿って約1.5km。この道は狭い上に石を積むダンプが盛んに通り、路上駐車ができない。前日の最終下見のときに、50号からの入口付近と(株)想石の先に点在するものを抜き取り、作戦範囲を縮めておいたこの際、民家3軒にビラ配布 内1軒の庭の抜き取りを実施した。(合計4袋)

(株)想石さんのご好意により車6台分の駐車場を予約してお借りできた。また、当日、中野組さんの駐車場2台分をお貸しいただいた。



南小泉



住吉



友部JCT



C班 成果物を前に作戦参加の皆様

C班

場所：南小泉～住吉～友部JCT (北関東道沿い 約8km)

人員：9名

抜き取り数：12袋

南小泉 5袋

住吉 4袋

友部JCT 3袋

このエリアは過去10年間抜き取りを続けており、確実に減少してきている。



作戦前のオオキンケイギク 総合公園



オオキンケイギクの抜き取りについて説明 総合公園



作戦開始 総合公園



抜き取ったものを袋詰め 総合公園



こちらはセイタカアワダチソウの抜き取り 総合公園



草むらの中でどんどん抜き取る 総合公園

場 所：D班 笠間市総合公園～寺崎・石井
 E班 笠間市総合公園～下市毛・下加賀田
 人 員：D班 24名 E班 14名

抜き取り数：オオキンケイギク	総合公園	17袋
	寺崎	5袋
合計29袋	石井	1袋
	下市毛	3袋
	上加賀田	3袋
セイタカアワダチソウ	総合公園	27袋
合計30袋	下市毛	3袋

笠間市小里環境推進部長が作業に参加された。
 セイタカアワダチソウは昨年は61袋で今年は半減している。
 抜取の効果が大きいと考える。



D・E班 成果を前に作戦参加の皆様 総合公園で



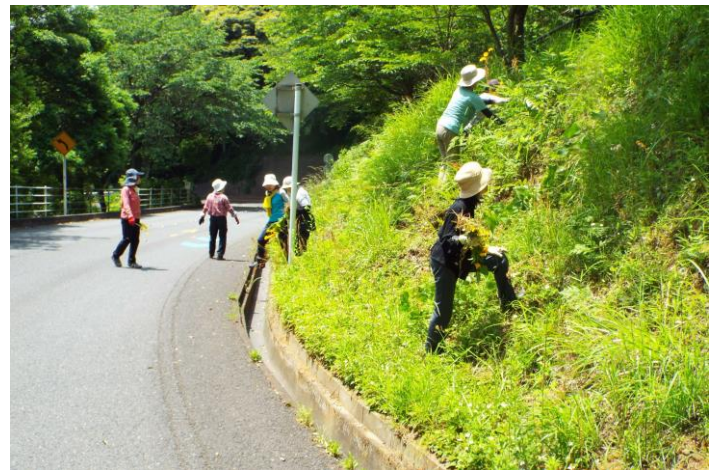
採石場ダンプ街道のオオキンケイギク



私有地のオオキンケイギク 家主に断って抜く 上郷



人家の出入り口そばで 上郷



愛宕山 登山車道で 泉



F班 成果物を前に作戦参加の皆様

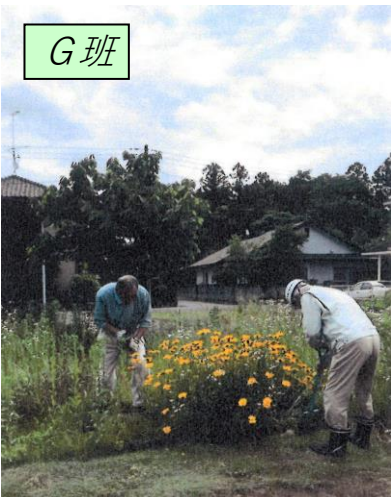
F班

場 所：上郷～吉岡
 人 員：11名 あたご四季の会（賛同市民1名含む）
 採取数：11袋 （自主活動）
 上郷 10袋
 吉岡 0.5袋
 下郷 0.5袋

岩間地区のほぼ全域をカバーする活動を継続している。民家の敷地にあるものも家人に断って、抜いている。

355号バイパス両脇のものはなくなってきた。

G班



G班

場 所：岩間 第一東宝ランド自治会内
 人 員：4名 自治会有志（自主活動）
 採取数：5袋

令和5年5月28日に実施



H班

県道法面での抜き取り作業



自治会公民館の土手で



H班 作戦参加の皆様

H班

場 所：星山地区自治会

人 員：5名 自治会有志（自主活動）

抜取数：3袋

県道109号線の法面、自治会公民館
墓地などで抜き取り実施



I班

湿地の中での抜き取り作業



藪をかき分けて

I班

セイタカアワダチソウの駆除

場 所：ピオトープ天神の里

人 員：11名 天神の里を作る会（自主活動）

抜取数：一輪車山盛り3台分（45L袋15袋と換算）

令和5年5月20日に実施。

材料の生育はない。

昨年からの時期にセイタカアワダチソウの抜き取りを
実施している。

抜き取ったものは農園用の堆肥として活用する。



成果物を前に 参加の皆さん

J班



抜き取り前 通学路側から



抜き取り前 管理者から提供の写真

J班

場 所：友部航空無線通信所
 人 員：4名 管理者（自主活動）
 抜取数：30袋（270kg）

令和5年5月30日に実施。



抜き取り後 管理者から提供の写真

追加抜き取り



笠間中グランド入口 抜き取り前の様子

場 所：笠間中学校～八反山地区
 人 員：4名 環境を考える会3名 市職員 1名
 抜取数：7袋（30kg）
 笠間中付近 6袋
 八反山地区 1袋

令和5年6月7日に実施。



成果物を前に 笠間中グランド入口にて

※ 6月12日に予定していた2回目の追加抜き取りは雨天のため中止となった。

協力団体と参加者数・成果

8/10

45kg袋

班名と実施場所	協力団体	班人員計	採取数	
			オオキンケイギク	セイタカアワダチ
A班 笠間東工業団地 代表：吉武	県環境政策課(3名), 茨城電通(1名) 茨城トヨタ(3名), 岩倉緑化(1名) エチオピア未来の子供(6名), JR東日本(4名) セキスイハイム(7名), トヨタモビリティパーツ(3名) 賛同市民(1名), 環境を考える会(3名) 笠間市環境政策課(3名), 笠間市資源循環課(4名)	40	42	6
B班 石切山脈地区 代表：増淵	イオン笠間店(3名) 常陽銀行(15名) 笠間市新規採用職員(12名) + 笠間市秘書課(2名) 環境を考える会(3名) 環境政策課(1名)	36 本戸	53 3	0
C班 南小泉～友部JCT 代表：菊地	ごみを考える会(9) 南小泉 5袋 住吉 4袋 友部JCT 3袋	9	12	0
D班 笠間市総合公園～ 寺崎・石井 代表：岸	キヤノン阿見(1名), キヤノン化成(15名) キヤノンモールド(3名) 環境を考える会(2名) 笠間市環境推進部長(1) 笠間市環境政策課(2名)	24 寺崎 石井	17 5 1	27
E班 笠間市総合公園～ 下市毛・上加賀田	東日本高速道路関東支社(12) 環境を考える会(2)	14 下市毛 上加賀田	3 3	3
F班 上郷～吉岡 代表：大山	あたご四季の会(10名), 賛同市民(1名) ※自主活動	11 上郷 吉岡	10 1	0
G班 第一東宝ラント団地	第一東宝ラント団地の有志(4)	4	5	0
H班 星山地区 代表：細田	星山地区住人(5名) ※自主活動	5	3	0
I班 天神の里 代表：橋本	天神里を作る会(11名) セイタカアワダチソウ抜き取り ※自主活動	11	0	15
J班 友部航空無線通信所	管理者(4名) 敷地内のオオキンケイギク抜き取り ※自主活動	4	30	0
合計	主催団体数 協力団体数 3 22	名 158	袋 188	袋 51

註1.参加団体数は主催3、協力21団体になります(賛同市民は団体としてカウントせず)。

註2.市役所からの協力団体は新採職員+秘書課で1団体、資源循環課(4名)で1団体とする。

註3.主催団体は環境を考える会(10名)、ゴミを考える会(9名)、笠間市環境推進部長と環境政策課(7名)。

45kg袋

日時と実施場所	協力団体	人員計	オオキンケイギク	kg
6月7日 八反山～笠間～石井	環境を考える会(3名) 笠間市環境政策課(1名)	4	7	30
6月12日	環境を考える会(6名) 雨天中止	0	0	0
合計		名 4	袋 7	kg 30

- ① 笠間市及びごみを考える会も主催者となり、茨城県環境政策課の後援を頂き、市環境政策課全職員及び資源循環課の協力と市新採職員の研修の場として定着し、笠間市をあげての行事として成長しているのは喜ばしい。
- ② 笠間市長より、オオキンケイギク防除に関する「従事者証」が交付されたので、その後の活動がしやすくなった（1年間有効なので、公民館祭りの際などにも現物を提示可能となった）。
- ③ 深澤環境政策課課長・小里環境推進部長（山口市長は急用で開会式前に戻る）など、県及び市が真剣に取り組んでいるという姿勢が参加者に理解されたと考える。
- ④ 新型コロナウイルス禍が治まりつつあるためか、協力団体・参加者が予想以上に多く、昨年度にご協力頂いたほとんどの団体様の他、常陽銀行様が復活され、参加団体・地区は25団体と賛同市民2名、合計158名で188袋（+セイタカアワダチソウ51袋）実施し、意識の広がりを感じた（これには、後日行われた、友部航空無線通信所での抜き取り（4名：30袋）及び天神の里での抜き取り（オオキンケイギクは生育が無く、セイタカアワダチソウのみ；11名：15袋を含む）。
- 第一回目（2010年）以降の 参加団体数（参加者数）は以下のようである。（※：コロナ禍中）
2(6)→3(70)→4(73)→6(75)→7(74)→10(100)→13(143)→16(151)→17(142)→19(131)→21(102)※→19(124)※→23(132)※→25(158)
- ⑤ 多くの場所で、昨年より、明らかに生育量が減少しているが、新たな生育地での抜き取りが増えて いるので、合計量は必ずしも減っていない。今年188袋で(45%)は昨年より増えた（131%）。
- 第一回目（2010年）以降の抜き取り場所数（抜き取り袋数）は以下のようである。
1(15)→5(112)→5(174)→6(165)→6(174)→7(163)→7(205)→8(249)→8(218)→8(188)→8(196)※→7(205)※→8(144)※→10(188)
- ⑥ 各地点における抜き取り開始年からの抜き取り袋数は以下のように減少している。
（○：生育量激減地 △：生育量漸減地 ×：事前に刈り取り済）

 - 友部二小隣接地 55→59→19→38→10→3→0→0
 - 友部JCT周辺 29→21→10→10→4→29→33→19→15→6→13→0
 - はなさか周辺 25→38→8→6→3→1→1→0→1→0
 - 南吉原道路沿い 25→8→8→3→2→2→1→0
 - 稲田北中下 23→35→26→14→0→0→8→0→0
 - 本戸道路沿い 10→37→29→15→17→5→13→9→0→0
 - △北関東道沿い 23→31→42→23→16→13→10→5→6→10→11→5
 - △笠間総合公園 6→8→36→32→17→×→14→21→15→×→17
 - △東工業団地 59→81→63→76→49→47→42
 - △東宝ランド 14→5→8→4→7→0→4→5

- ⑦ 特定外来生物オオキンケイギクは減少しているが、セイタカアワダチソウがはびこっているため、昨年より、公園を中心に後者も抜き取ることにしたが、それにより以下のように減少していることがわかる。

 - △東工業団地 36→6
 - △笠間総合公園 61→27

- ⑧ 今年は、第一東宝ランドや星山地区に加えて友部航空通信所、ビオトープ天神の里が加わって下さった。今後もこのような傾向が強まる事を期待する。
- ⑨ 花を持つ株が減少しているため、幼株も取るようにしているが、セイタカアワダチソウやブタナ、ピロウドモウズイカなどの外来植物を抜き取る人が増えている。それでも、どの班も予定時刻より早く作業を終了した。
- ⑩ D班・E班（笠間市総合公園）は生育量が減少しているためセイタカアワダチソウも抜き取った。その後、両班はそれぞれ別の場所を廻って合計12袋抜き取った。

- ⑪ この「オオキンケイギク抜き取り作戦」の主な目的は（１）オオキンケイギクの除去及び（２）市民にオオキンケイギクの抜き取りの意味を周知する。（３）自分の住む地域のオオキンケイギクが存在を知る。（４）各自が身の回りの特定外来生物を自ら除去することにある。
まだ道半ばであるが、成果は出つつあると考えている。
- ⑫ 隣接市町村からの飛来が考えられるので、近隣地域あるいは県全体での対応が必要と考える。
6月7日の除去作業で、笠間中学校の土手（6袋）や八反山地区などで生育していることを知った。 **手を抜くとなくならないので、最低5～6年間続けて 結実前の除去作業と秋にも抜き取ると効果がある。**
- ⑬ 「隣家の庭に植えられているが、直接には忠告できない」との相談を受けた。「市に連絡頂ければ、私達が対応します」と答えたが、市への連絡は無かった。数年前から、市の区長会総会で本会作成の「お花を愛するみなさまへ」を各区へ配布して頂いているが、各戸に回覧されていない所もあるようである。市と連携して生育している地区や家及び空き家での駆除方法を考える必要がある。
- ⑭ 友部JCTの内部及び北関東道の急斜面に多量生育していて、それらからも供給されていると考えられる。供給地の除草をお願いしたい。斜面が緩やかな場所はヤギなどによる除草、急な斜面では樹木（低木）の植樹による日光の遮断などが有効と考える。
- ⑮ 川畔を中心に特定外来生物のアレチウリが繁茂している。足場が悪いためこの「オオキンケイギク抜き取り作戦」のような方法は困難であるが、早急に対策を取る必要がある。
- ⑯ 新聞社など報道機関の反応が弱いようなので、広報の手段を考える必要がある。
- ⑰ 「笠間中学校の土手に生育している」との情報が入ったので、6月7日に抜き取りを行い、6袋取った。
その後、「笠間中学校近くの道路の法面とそれに隣接する私有地に生えている」との情報があり、6月12日に抜き取ることにしたが、当日は雨天のため中止となった。
- ⑱ 準備時間を十分とるために、来年度からは各団体・報道機関への連絡を早める必要がある。

※ 参加者数・抜き取り袋数などの数字は「報告書添付資料」を参照。

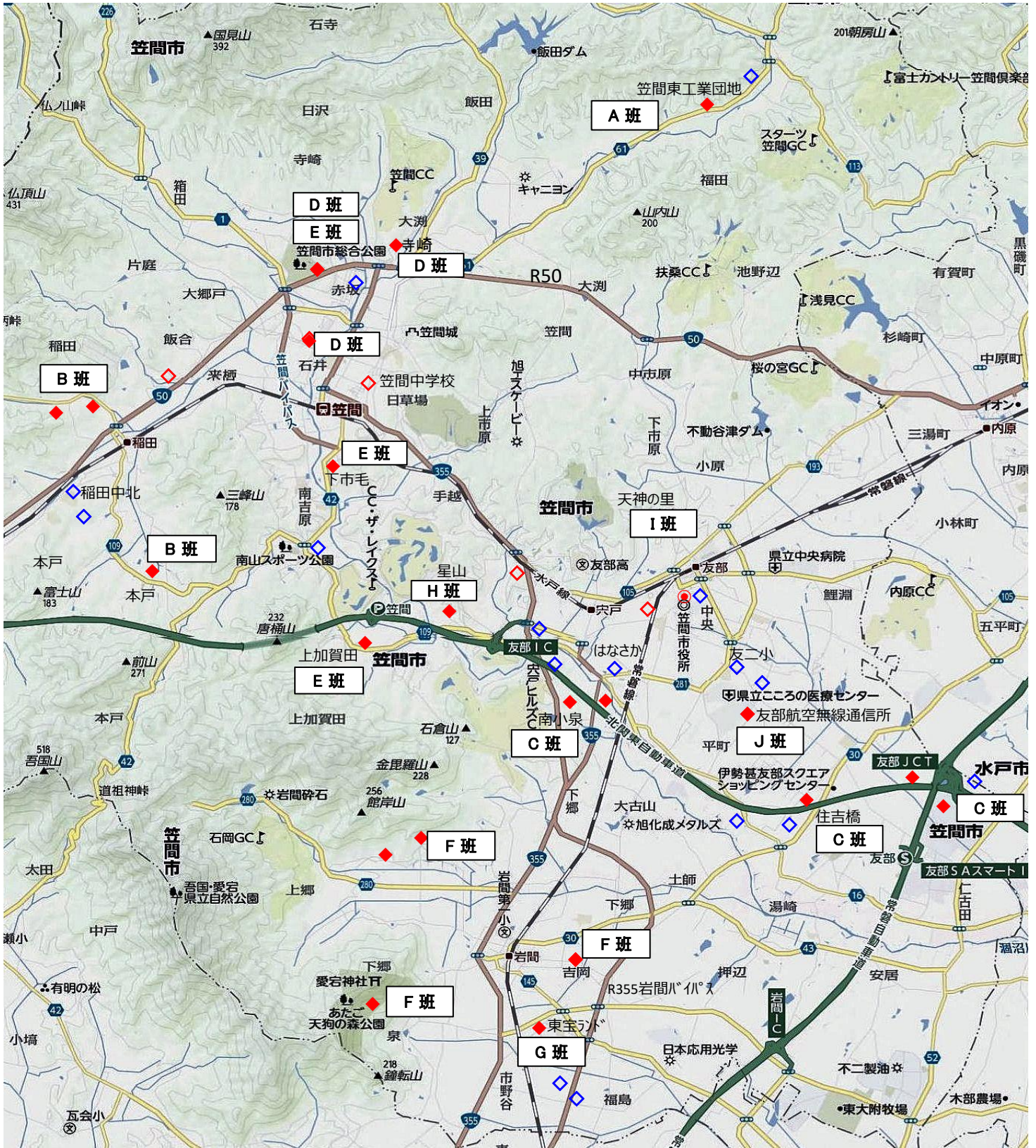
P8/10 **協力団体と参加者数・成果**

添付 2 **オオキンケイギク抜き取り作戦の推移**

オオキンケイギク生育分布 笠間市全図

- ◆ : 2023年抜き取り作戦地点
- ◇ : 材木の伐り点在
- ◇ : 生育がなくなった地点

2023.05.19更新



注1.D班はE班と合同で笠間総合公園を担当する。総合公園ではセウカアツク刈りも抜き取る。

余力が出たらD班は寺崎、石井 E班は下市毛、南吉原を回る。

注2.C班は南小泉から友部JCT間を担当する。

注3.B班に余力が出たら、本戸を回る。

作業場所など		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
抜き取り作戦の成果	南友部(北山公園道)	12														
	友部二小隣接地		55	59	19	38	10	3								
	友部航空無線通信所北側・内部(2023から)					4	11	5							30	
	友部JCT周辺		29	21	10	10	4	29	33	19	15	6	13		3	
	住吉(北関東道沿い)(しらゆり団地)		10	10	15			9	2			2	4	5	4	
	橋爪はなさか下				25	38	8	6	3	1	1		1			
	南小泉-下加賀田(北関東道沿い)		13		16	42	14	14	13	10	5	4	6	6	5	
	上加賀田(県道109号沿い)		5	36				7	2	4	8	3		1	1	3
	南吉原(県道42号沿い)			25	8	8	3	2	2	2	1					
	下市毛(県道42号沿い)							22	9	6	3	4	6	3	1	3
	笠間市総合運動公園				6	8	36	32	17			14	21	15	3	17
	福田中学校北側			23	35	26	14				8					
	本戸(県道109号沿い)							10	37	29	15	17	5	13	9	3
	愛宕山登山道路・上郷地区 ほか				21			10	15	22	12	1	20	17	11	11
	国道355号 巴川付近								18	20	14	20		3	2	
	東宝ランド団地(団地自治会)								14	5	8	4	7		4	5
	笠間東工業団地									59	81	63	76	49	47	42
	笠間地区宅地用空き地 ほか 寺崎・石井										12	4				6
	星山地区												4	2	3	3
	富谷福田線(289号) 沿い												18	24	24	53
市立病院跡地・その他													40	2		
合計(袋数)		12	112	174	155	174	158	188	213	192	151	169	191	118	188	
作戦規模	参加者数(名)	6	70	73	75	74	100	143	151	142	131	102	124	132	157	
	作業班数(班)	1	5	5	6	6	7	7	8	8	8	8	7	8	10	
	主催・協力団体数(個人参加は不含)	2	3	4	6	7	10	13	16	17	19	21	19	23	25	
追加活動	取り残した場所や、市民から情報があつた場所を少人数で巡回抜き取りを実施(5月末~6月中旬)	3			10		5	17	22	18	13	16	3	3	7	
									14	8	24	11	11	16		
	合計(袋数)	3	0	0	10	0	5	17	36	26	37	27	14	26	7	
年度別抜き取り総合計(袋数)		15	112	174	165	174	163	205	249	218	188	196	205	144	195	
														※ 2022よりセイタカアワダチソウ抜き取り	97	51

お花を愛するみなさまへ

かさま環境を考える会

写真のような花が、最近、花壇や庭の片隅などに
紛れ込んでいないでしょうか？

このキレイな花が、実は
法律により、栽培が禁じられ、
駆除すべきとされている
特定外来生物「オオキンケイギク」
なのです。

見つけた場合は
駆除にご協力をお願いします。



オオキンケイギクとは

北米原産のキク科の多年草で、明治期に、観賞用として日本に導入され、道路の法面の緑化などにも使われてきました。5月～7月には、黄色のきれいな花をつけます。

しかし、繁殖力が非常に強く、種子を風の力で遠くまで飛ばして広範囲に野生化し、日本在来の植物を圧迫する恐れがあると考えられるようになりました。

平成17年に施行された法律「外来生物法」により、平成18年に「特定外来生物」に指定され、栽培、販売、保管、移動などが、禁じられており、「駆除していくべきもの」とされています。

駆除方法

- ① 種子が飛散しないよう注意して、根を残さず引き抜く。
- ② ビニール袋などに密閉して、燃えるごみとして処分する。

※ オオキンケイギクが生えている場所を見つけた場合は、
市役所環境政策課にご連絡ください。

[問合せ] 笠間市環境政策課
TEL 0296-77-1101(内線125)

※ この活動には「エコーいばらき」からの助成金をいただいております。

セイタカアワダチソウ



5月頃の草姿



満開の花詳細 10月中旬



群生して花をつける 10月中旬

キク科の多年草で草丈が3mにもなり密生して、日本の在来種を圧迫する。種子及び根茎で増え、根からアレロパシーという物質を出して他の植物の成長を抑えるという特技を持っている。

駆除方法

- ① 根が地中を這いまわっているなので、できるだけ残さず引き抜く。
- ② 秋に抜取る場合は花後の種子が飛散しないよう注意する。
- ③ 抜き取ったものはその場で腐らせるか、乾燥後燃えるごみで処分する。